

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福島市こども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年1月27日 ～ 2025年2月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月27日 ～ 2025年2月28日		
○訪問先施設評価有効回答数		2	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、保育士等が多角的な視点で支援・評価を実施している。	訪問先の設備や物品などからその子に合った対応方法を提案している。また、その提案が合っていたか事後確認し、成長に合わせ課題修正している。	今後も家庭、園等で同じ対応がなされるように情報共有を密に行う。
2	多機能型であるため、児童発達支援（通所）から幼保等への移行支援を丁寧に実施できる。	訪問前及び随時園と連絡を取り、児童の成長に合わせた取り組みを園に提案。毎回保護者に報告している。併せて家庭でも取り組んで欲しい課題があれば保護者へ提案している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援、居宅訪問支援も実施しているため、支援できる件数に限りがある。	訪問先と、こどもの課題が共有できない場合がある。（保育所等訪問の目的と意義が、訪問先に十分伝わらない。）	事業開始初年度のため複数で丁寧な対応をしているが、将来的には効率的な支援方法を検討する。
2	限られた人員のため、希望があった場合に迅速な対応が困難な場合がある。		効果的な訪問としていくために、地域のインクルージョンの推進を進めていく。